

令和4年度事業報告

概 要

令和4年度の事業は、コロナ蔓延の中でも、コロナ感染に気をつけながら、昨年まで、行えなかった医療セミナー、いちご狩り、ピアサポート等のイベントを開催することができました。

平成20年度の事業計画で「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動などを、神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的実施して行く」として、神奈川県リハビリセンター側と何度も話し合いを持ちましたが、結局実現には至らなかった経緯があり、まずは県内4か所から広く相談を受け付けることになり、全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が、広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった11年目の取り組みとなりましたが、昨年は、ピアサポートの回数を減らして、例年は年に4回行うところ、3回行うことができました。

もう一つの大きな支部の事業として、共同募金からの助成金事業として、医療セミナー等の様々なセミナーを開催しておりますが、令和4年度の医療セミナーは、「ロボット利用で広がる障害者の未来」と題して、神奈川工科大学の三枝 亮准教授をお招きして行うことができました。

1、 令和4年度支部総会の開催

開催日 令和4年6月25日（土）

支部定例総会	出席者	7名
	委任状提出者	45名
	合計	<u>52名</u>

「資格審査」

令和4年度4月1日現在の支部会員数は70名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は36名以上となり、今総会は成立しました。

(総会議事)

オンラインで行ったため、議長の選任、事業報告、監査報告は、割愛し、書面の提示のみといたしました。

第1号議案 令和3年度事業報告

- (1) 「あなたの力になります」 脊髄損傷者の相談会実施の報告
- (2) 共同募金助成セミナーの報告
- (3) 令和3年度支部総会の開催報告
- (4) 定例役員会の開催 第264回から第269回までの6回
- (5) 支部会報「やわらぎ」の発行 第114号、115号の2回発行
- (6) 共同募金活動への参加 桜木町、相模原市役所前の2か所
- (7) 第20回定時総会Web会議出席
澤藤副支部長が出席
- (8) 関東甲信ブロック会議
神奈川県支部が主催でZOOMにて、ブロック会議を開催
- (9) 協会活動報告 川崎、横浜、県央、西湘の協会報告
- (10) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

第2号議案 令和3年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 令和3年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、令和3年度事業報告、令和3年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果、全会一致で承認されました。

また、第3号議案の令和4年度活動方針及び、川崎、横浜、厚木、相模原市の4か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の令和3年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

2、定例役員会の開催

神奈川県支部を運営して44年目を迎えた2022年度の定例役員会は新型コロナの影響で、10月の役員会以外は、オンラインで行いました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役員会	開催日	開催会場
第271回	2022年 4月23日	オンラインで開催
第272回	2022年 6月25日	オンラインで開催
第273回	2022年 8月20日	オンラインで開催
第274回	2022年10月22日	けやき体育館
第275回	2022年12月10日	オンラインで開催
第276回	2023年 2月12日	オンラインで開催

3、支部会報「やわらぎ」の発行

第114号は総会議案書

第115号はコロナ渦での支部活動、川崎協会の相談会の報告、川崎市防災出前講座、ロボット研修会PHOTO報告、会員紹介（県央協会 町田 安男さん）会員動向

*やわらぎ第114号（総会議案書）・・・2022年5月21日発行

*やわらぎ第115号・・・・・・・・・・・・ 2023年2月13日発行

4、共同募金活動に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする、地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに募金活動を通して、市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われています。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、10月3、4日に桜木町、相模原市役所で赤城支部長が参加。70,077円の募金がありました。

5、第21回 定時総会（WEB）に出席

開催日 令和4年6月4日（土）5日（日）

出席者 赤城支部長、小暮

6、第45回関東・甲信ブロック会議 埼玉県大会に出席

（WEBとのハイブリッド）

令和4年9月18日（日）

出席者 赤城支部長、小暮

関東地区の東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、茨城県、山梨県の各支部が一同に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点等について意見交換と情報交換と親睦を兼ねて毎年持ち回りで開催しています。

7、研修会の開催

「ロボット利用で広がる障害者の未来」

日時 令和4年12月17日（土）

場所 神奈川工科大学にて開催

講演 「ヘルスケアを支えるロボットとAI」

講師 三枝 亮 神奈川工科大学准教授

参加者 18名

「現在ロボットはどのようなことができるのか」

ヘルスケアロボットを例にとると、健康の見守りや悩みを聞いたり、バイタルチェックなどができます。その他施設や病院の見回り等もできます。

講演後は、皆さんロボットに触ったり試したりして楽しんでいました。

8、各協会報告

令和4年度は、川崎協会が催事を開催し、会員の皆様にご案内し、参加者を募りました。

川崎協会

川崎市防災出前講座

～防災についての知識・関心を高めよう～

開催日 : 令和4年11月27日(日)
会場 : 川崎市産業振興会館
講師 : 川崎市危機管理本部危機管理部 啓発担当職員
廣岡氏
斎藤氏

本講座では、川崎市危機管理本部 啓発担当職員の廣岡氏と斎藤氏の講義に始まり、18名の参加者とグループディスカッション形式にて、以下の項目について、話し合いました。

1. 地震に備える。
2. 土砂災害に備える。
3. 日頃の備え（非常持ち出し袋、各家庭でのトイレの備え、水、簡易トイレ等）
4. 災害時の情報収集

タイムラインの作成（台風進路、浸水シュミレーション等）

川崎市では、日頃、車椅子の身体障害者が災害時にどのようにして避難や備えをすれば良いのか、細かいハザードマップを作製していて、私たち、障害者が災害時の行動について、大変参考になりました。

9. その他の活動

- 1、事務局の安藤朱美さんが神奈川県福祉サービス運営適正化委員会に出席。
- 2、相馬財政部長が神奈川県障害者施策推進委員会に出席。